

市民とつながる

議会だより いちのせき

No.80 2025.3.1

CONTENTS

12月通常会議

- 話し合ったことズームアップ（議案審議）…… 4
- 一般質問 …………… 6
- 1月招集会議ダイジェスト ……………12

[巻頭特集] 語ろう市議会 ×
看護学生

[特集 2]

聞かせて！地域の課題と解決策 …………… 14

女性団体などを対象に市民と議員の懇談会を開催しました



- 特集 -

五ひろ市議会 × 看護学生

地域医療の発展、充実に寄与し、広く社会に貢献できる人材の育成を教育目標に掲げる一関看護高等専修学校・一関看護専門学校。医療現場での活躍を目指し、同校で日々勉強に励んでいる松倉恵磨さん、菊地愛乃さん、守屋智咲さんの3人に、自身の目標や市議会に期待することなどを聞きました。

— 学校について紹介してください。

松倉さん 看護の基礎から実践まで学べ、少人数制で丁寧な指導が受けられます。地域医療に貢献できる看護師を育成する学校です。

— 医療従事者を志したきっかけと目標は。

松倉さん 幼い頃、入院した時に励ましてくれた看護師に憧れ、医療従事者に興味を持ちました。兄が看護師として働いており、兄のような看護師になるのが目標です。

菊地さん 看護師である姉の働いている姿を見て、自分もなりたと思っていました。どんな患者にも笑顔で接している姉が私の目標です。姉の採血は全く痛くないんですよ。

守屋さん 一度別の職業に就きましたが、入院時や出産・産後の経験から、社会人になって改めて看護師を目指そうと思いました。患者に寄り添い、小さな違和感にも気づける看護師になりたいと思います。

— 看護師を目指す上で大変なことありますか。

松倉さん 一番は日ごろの体調管理です。病院で働くので、さまざまな菌を持ち込まないように細心の注意を払っています。

菊地さん 身に付けるべきことがたくさんあり、勉強が大変です。専門書や教材も値上がりしており、苦勞しています。



新生児に必要な援助を人形を用いて校内演習しています

「支えられる側から支える側に」

守屋さん 家事や育児をしながら夜間に学校へ通っており、日々の勉強やテスト対策などの時間の確保が難しいです。

— 学生や若者、また、医療・福祉現場に対してどのような行政支援を期待しますか。

松倉さん 学費など経済的負担の軽減、学生のメンタルヘルスの支援、就業支援を強化していただきたいです。看護学生向けのカウンセリングなどがあれば、不安やストレスも解消され、さらに勉強に励むことがで

きると思います。

菊地さん 市の修学資金貸付事業の募集や手続きなどについて、文字だけではなく、分かりやすいものがあるといいと思います。物価高騰を踏まえ、医療介護従事者修学資金の貸付額の増額を検討してほしいです。

守屋さん 2025年問題、2030年問題などの社会問題に対し、市がどのような対策をしているのか情報が入ってこないのが不安です。医療や看護に対するサポートがなされることを希望します。

— 市議会に期待することは。

守屋さん 処遇や人材不足で医療現場が大変な現状から、卒業後に学生が他県や他の業種に流れていまます。一関市の現状について看護学生がどう思っているかを知っていたら、広く伝え、市政に生かしてほしいです。特に看護人材不足について何とか対策してほしいと思います。



— 今後の夢は。

松倉さん 市内で働き、地域貢献したいです。患者の一番そばで、寄り添える看護師になりたいです。

菊地さん 誰にでも明るく接することのできる看護師として、市内の婦人科系の現場で仕事ができたらと思っています。

守屋さん 看護師資格を取得し、支えられる側から支える側になりたいです。市内で働きたいと思っていますが、分野はこれから実習を通してよく考えます。



取材を終えて

3人の若い世代の声を聞き、とても頼もしく感じました。また、患者に寄り添う看護が大切ですが、その前提となる看護師が十分に足りていない現状が、インタビューから伝わりました。市だけでは解決が難しい問題もあり、国や県に対してしっかり要望していきたいと思っています。



岩淵委員 佐藤委員

市の医療介護従事者修学資金貸付制度

医療等の現場で働きたい学生を応援

市では、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士または介護福祉士を目指す学生で、卒業後に市内の医療介護施設などに勤務する意思のある人を対象に、入学一時金や修学資金の貸し付けを行っています。医療介護従事者として市内の医療介護施設などで5年間（入学一時金だけの貸し付けを受けた人は3年間）勤務した場合、返還が全額免除されます。

貸付金額

入学一時金

- ・助産師、看護師…………… 60万円以内
- ・准看護師、歯科衛生士、介護福祉士…………… 40万円以内

月額貸付金

- ・助産師、看護師…………… 65,000円以内
- ・准看護師…………… 40,000円以内
- ・歯科衛生士…………… 45,000円以内
- ・介護福祉士…………… 55,000円以内



一関看護高等専修学校・一関看護専門学校

一関市大手町3-31 学校長：佐藤隆次

一関市医師会附属の看護学校。一関准看（准看護師養成）と一関看専（看護師養成）の2校は、これまで多くの医療従事者を育成し、卒業生は一関市内外の医療や介護の現場で活躍。令和7年度から准看は閉校し、新たに「一関看護専門学校」として看護師を養成する3年課程（全日制）と2年課程（夜間定時制）の二つの課程となる。

指定管理

可決

*議案第102号 一関市地域資源活用総合交流促進施設の指定管理者の指定

「道の駅だいたう」開業に向け 指定管理者を決定



4月オープン予定の道の駅だいたう

令和7年4月オープン予定の「道の駅だいたう」（大東町渋民）について、施設の管理運営を行う指定管理者に、大東産地直売協同組合を指定しました。

選定の理由について、市からは「同組合は地域の農林産物などの販売や地域活性化に向けた取り組みを行うこととしており、当該施設の設置趣旨と合致する」との説明がありました。

指定管理期間は令和9年度までの3年間です。

こんな質疑がありました

Q. 4月の道の駅オープン後、指定管理者に対して市はどのようなバックアップを予定しているのか。

A. 指定管理業務の実施状況などの確認を行い、必要な助言を行うとともに、情報共有を目的とした連絡会議などを開催していく。

請願

採択

*請願第5号 一関市生物多様性地域戦略策定等に係る請願書

一関市も「ネイチャーポジティブ宣言」を

請願書は、市が「生物多様性地域戦略」を作成することと、「*ネイチャーポジティブ宣言都市」になることを求める内容で、久保川イーハトーブ自然再生協議会から提出されました。教育民生常任委員会で審査し、本会議で同委員会の永澤由利委員長から審査終了報告を受け、全会一致で採択しました。

*ネイチャーポジティブ…日本語で「自然再興」。自然生態系の損失を止め、回復軌道に乗せること

教育民生常任 委員長報告

「市環境基本計画を活用して宣言するなど、はっきりとした態度を表明していくことも大事」との意見があり、委員会では採択すべきものと決した。

可決

その他の議案

- *議案第94号 一関市文化センター条例の一部改正
一関文化センター2階の旧食堂室を多目的室に改修し、令和7年4月から利用を開始することに伴い、多目的室の利用料金を定めるための条例改正です。
- *議案第95号 市民センター条例の一部改正
老朽化などに伴い小梨市民センター清田分館を廃止するため、市民センター条例から清田分館を削除する条例改正です。廃止後に建物は解体される予定です。
- *議案第101号 財産の無償譲渡
市が所有する旧天狗田小学校（大東町）の建物の一部を民間に無償で譲渡するものです。建物は昭和56年に降に増築した校舎と物置（計274.59平方メートル）。譲渡先は認可地縁団体の下沖田公民館です。

12月通常会議で話し合ったこと

ズームアップ

令和6年定例会第114回12月通常会議
12月3日～13日/会議期間11日間

会議では報告3件のほか、議案24件を原案通り可決しました。

補正予算

可決

*議案第99号 令和6年度一般会計補正予算（第10号）

TGC teen の開催に1億980万円

第10号補正では、(仮称) TGC teen一関推進委員会への負担金1億980万円を追加しました。「TGC teen ICHINOSEKI」は令和7年も市内で開催する予定で、開催は令和5年から3年連続となります。財源として県補助金と藤沢町内に岩手工場があるヘルメット製造・販売の株式会社SHOEIからの企業版ふるさと納税が充てられます。



©TGC teen ICHINOSEKI 2024

TGC teenは、東京ガールズコレクション (TGC) 実行委員会がプロデュースする若者向けファッションフェスタ。写真は昨年のステージ

こんな質疑がありました

Q. 推進委員会の構成メンバーなどは。

A. 女性や若者の団体、高校、JA、商工会議所、PTAなど18団体に参画いただく予定。屋外イベントを中心に企画、検討いただく。

Q. 前回までの開催内容を総括し、次の開催ではどのような新しい取り組みを行うのか。

A. 次回の開催では、経済波及効果の得られる期間、巻き込む地域、ターゲットとする年齢層を広げるような仕掛けを検討していく。

可決

*議案第116号 令和6年度一般会計補正予算（第11号）

低所得世帯へ暖房費7,000円を給付

第11号補正では、低所得世帯への支援策として、令和6年度分の住民税均等割が非課税の世帯に対し、冬季における灯油購入費（暖房費）1世帯当たり7,000円の給付金を支給するため9,690万円を追加しました。対象世帯数は1万3,000世帯を見込み、財源は県補助金となります。



高騰する灯油代が家計の負担に

こんな質疑がありました

Q. 7,000円に上乗せして、8,000円を給付している県内の自治体もあるが、市では上乗せを検討しなかったのか。

A. 検討した結果、限られた財源の使い方として給付対象を絞って給付額を上げるよりは、7,000円のまま対象を広くして給付することを選択した。住民税非課税世帯と生活保護世帯の全てを対象にした。

条例改正

可決

*議案第97号 一関市水道事業給水条例の一部改正

4月から水道検針を隔月実施へ

令和7年4月から一般家庭向けの水道メーター口径13ミリ、同20ミリの検針を2カ月に1回の隔月検針に切り替えるための改正を行いました。利用料金は、計量した使用水量を各月で均等にしておいて1カ月単位で毎月請求されます。

岩淵 優 議員
いわぶち まさる
満開の桜

農村の魅力発信は

Q 市農林業振興計画の中で、農村コミュニティの活性化の観点から、交流人口の拡大策の一つとして半農半X^{*3}を挙げている。半農半Xに対する見解、農業と何かの組み合わせでの特徴的な取り組みについて伺う。

A さまざまな人にさまざまな形で、農業・農村に関わっていただくことは重要。「いちのせき農業チャレンジツアー」を進め、農業に加え、それぞれの地域の魅力を効果的に発信できるよう取り組んでいる。令和6年度から取り組む「ふるさとワーキングホリデー推進事業」は、農地へ向かうだけでなく、就業先の農家に宿泊し衣食住を共にして交流を深めた事例もあり、当市の農業に触れるきっかけとして有効と考えている。



農村の魅力が詰まったほっとする産直さんさん道のわき

その他のQ&A

- 一関市人口ビジョン、創生総合戦略の10年の振り返りは
- 二地域居住の促進は
- カスタマーハラスメントへの対応は



猪股 晃 議員
いのまた あきら
ペチュニア

企業の事業承継の支援は

Q 事業承継は、中小企業や家族経営の商店の存続にとって非常に重要な課題だが、市の取り組みとその評価は。また、地域おこし協力隊の活用を新たな取り組みとして考えられないか。

A 地域の経済や雇用を支える重要な役割を担ってきた企業を次世代に引き継ぐことは大切なことと認識している。伝統や技術、商品などの価値を後世に残し、雇用維持も図られることから、一関商工会議所などと連携し、いちのせきビジネスサポート相談室「ビジサポ-I」や「シゴト・ツクル・アカデミー」^{*2}を開設するなどした。市としては、企業などに多面的な支援や働きかけができたものと評価している。地域おこし協力隊の活用は、事業承継を地域課題と捉えるような検討が必要だ。



起業などを支援するシゴト・ツクル・アカデミー

その他のQ&A

- 地域コミュニティの今後のありよう



千葉栄生 議員
ちば えいき
マンサク

補聴器購入補助制度の創設を

Q 高齢化に伴い耳が聞こえにくくなり、仕事や社会生活に困る国内の難聴者数は、日本補聴器工業会の調査によると1430万人と推定され、世界で3番目に多いと報告されている。全国共通課題とする中で、加齢性難聴に対する補聴器購入費補助を行う自治体は、令和6年1月時点で238と広がっている。市独自の購入補助制度を導入する考えはないか伺う。

A 高齢者の身体機能の低下は、聴力に限ったものではなく、補助制度については総合的、体系的に検討していくことが必要である。また、加齢性難聴は国民共通の課題であり、国の政策として制度化されるべきものと考えており、市が独自に補助を行うことは難しいものと捉えている。



その他のQ&A

- JR一関駅（西口側）周辺のまちづくり



佐藤幸淑 議員
さとう ゆきとし
桜

CO₂排出削減の取り組みを

Q 二酸化炭素（CO₂）排出削減の取り組み状況を伺う。

A 再生可能エネルギーの導入を促進するため、太陽光発電設備などの導入に対する補助の対象に令和3年度から蓄電池を加えたほか、木質バイオマスについては、まきストーブの設置に対する補助や公共施設へのチップボイラーの導入、生ごみ減量機器の購入に対する補助などを継続して実施してきた。

Q 取り組みから見えてきた課題や今後の方策を伺う。

A 化石燃料への依存度の高さ、再生可能エネルギー普及率の低さは当市も例外ではなく、市民に対しさらなる再生可能エネルギーの導入促進など、CO₂排出削減の取り組みについて継続して周知し、意識の醸成を図っていくことが必要と捉えている。



その他のQ&A

- GX（グリーンTRANSフォーメーション）の取り組み



菅原行奈 議員
すがわら あんな
リンドウ、トルコキキョウ

市内の保育所などの状況は

Q 保育人材、待機児童の状況を伺う。

A 令和6年4月1日時点で児童に対し配置が必要な保育士などの割合は、私立の保育施設で155.5%、公立144.3%だが、特別な支援などを要する児童への対応や保育士の休暇などのため、限られたぎりぎりの人数で対応しているのが現状である。待機児童は国基準ではゼロだが、実際には令和5年度末で59人、令和6年11月時点でも45人が発生している。

Q 手のかかる児童には家庭的保育事業を活用することで、相互受益につなげることが可能ではないか。

A 行っているところではあり、^{*1}「こども誰でも通園制度」などと抱き合わせて対応するなど、工夫していく。



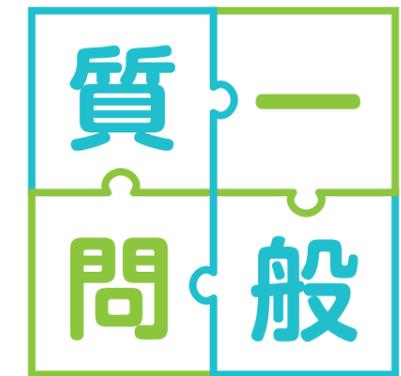
少人数保育を行う家庭的保育事業

その他のQ&A

- 主要道路の整備
- 物価高騰、働き方改革、賃上げ状況下の中小企業支援



第114回 12月通常会議



一般質問は12月5、6、9日の3日間で14人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。（文責は各議員）

登壇議員	ページ
菅原 行奈 議員	6
佐藤 幸淑 議員	6
千葉 栄生 議員	7
猪股 晃 議員	7
岩淵 優 議員	7
千田 恭平 議員	8
永澤 由利 議員	8
岡田もとみ 議員	8
千葉 信吉 議員	9
佐藤 浩 議員	9
佐藤敬一郎 議員	9
佐藤真由美 議員	10
小山 雄幸 議員	10
齋藤 禎弘 議員	10

議員の素顔をお見せします
#ひとつこと

今回のテーマは…
#好きな花は？

*3 半農半X（はんのう・はんえっくす）

農業とそれ以外の仕事や好きな何か（X）を両立していこうとするライフスタイル。自分に必要な食糧を自給しながら、やりたいことを追求すること。

*2 シゴト・ツクル・アカデミー

主催は一関市。起業を目指す人、事業承継を希望する人などを対象に、会社経営に必要な知識や技術を提供する事業。

*1 こども誰でも通園制度

月一定時間までの利用可能枠の中で、親が働いていなくても、子供を保育所などに預けることができる制度。一時預かり事業と違い利用の理由は問われない。

単語帳

用語のひとつこと解説コーナーです

佐藤 敬一郎 議員
さとう けいいちろう
カサブランカ

防犯カメラで犯罪防止を

Q 安全で安心なまちづくりの実現に向け、犯罪の未然防止や早期解決のため防犯カメラの設置について伺う。

A 防犯カメラ設置を周知することは犯罪抑止に一定の効果がある。市が設置している防犯カメラは、市の施設など66カ所に計185台あり必要に応じて設置を検討する。



Q 市営バスを花泉から佐沼（宮城県登米市）へ乗り入れてほしい。花泉一磐井病院間の市営バス路線で、大町角と磐井病院間に停留所を設置できないか。また、診療終了が最終バス時刻に間に合わないことについて伺う。

A 佐沼への乗り入れについては登米市と意見交換をする。大町角と磐井病院間への新たなバス停の設置および運行時間の見直しは検討したい。

その他のQ&A

- 防犯カメラの設置補助金
- 農業の振興

佐藤 浩 議員
さとう ひろし
菜の花

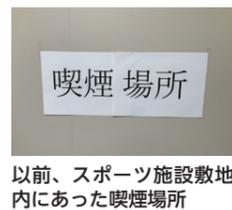
スポーツ施設の改修状況は

Q 経年劣化などにより損傷が激しい一関運動公園および花泉運動公園テニスコートの改修状況は。

A 毎年スポーツ施設全体の修繕改修計画の見直しのため、一関市体育協会などと現状確認し協議検討している。向こう3カ年の実施計画により、施設利用者が安全に利用できるかという視点で優先度や緊急性を考慮しながら予算措置していく。

Q スポーツ施設敷地内への喫煙場所の設置は。

A 受動喫煙を防止するため、市体育協会との協議の結果、敷地内を全面禁煙とした。受動喫煙対策が具体的に可能かどうかも含め、施設利用団体や市体育協会、種目別競技協会の意見も聞きながら検討したい。



その他のQ&A

- 多彩な祭りやイベントへの取り組み再考について

千葉 信吉 議員
ちば のぶよし
山野草の花々

学校給食無償化の考えは

Q 学校給食は、^{*6}食育・食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材といわれている。教材という観点を踏まえ、学校給食の無償化が社会の要請と考えるがいかがか。

A 学校給食は学校給食法において、児童生徒の健康の保持・増進や食事に対する理解を深めることが目標とされている。栄養価を維持し食育を推進しながら、安全なものを安定して供給することが重要であると捉えている。学校給食は食育の非常に大切な教材である。教育委員会が抱えている課題は多岐にわたることから、財源全体を見たとき、それらにもかなりの財源が必要になる。無償化を実現するためには、財源が確実に確保されることが必要と考える。



その他のQ&A

- 放射能被害対策の現状と課題

岡田 もとみ 議員
おかだ もとみ
フリージア

子供が遊べる公園整備を

Q 公園の遊具が古くなって使えないと苦情が寄せられている。子供たちが身近な公園で元気に体を動かし、健全に育成される地域が求められている。各地域の使用禁止となっている遊具の状況は。

A 一関10基、花泉5基、大東3基、東山2基、川崎4基、藤沢1基。

Q 使用できない遊具の撤去計画は。

A 撤去計画はなかった。今後、使用禁止している全ての遊具の早急な撤去に向けて取り組む。

Q 市内全体で25基だが、その計画の見通しは。

A 令和6年度内の撤去3基、更新4基。残りは、来年度中に全て撤去あるいは更新する予定。



その他のQ&A

- 地域による廃校などの利活用を
- 市民と取り組む焼却ごみの減量を

永澤 由利 議員
ながさわ ゆり
奏楽(そら)のひまわり

^{*5}ジェンダー平等を

Q 国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の中のジェンダー平等は、経済や政治の部門が課題となっている。男女間の賃金格差の是正、意思決定プロセスへの女性の参画、女性の管理職比率の引き上げが望まれる。令和6年12月6日の議場においても、市の幹部職員として出席している女性は2人。積極的な女性の登用が必要だと考える。女性であるという理由だけで補助的な役割のみでは、まちの存亡に関わる極めてリアルな問題だ。性的少数者（LGBTQ+）への理解も広がりを見せている。

A 市の女性管理職の登用については、職員個人の能力経験などを評価して登用していくことになる。



第4次いちのせき男女共同参画プラン

その他のQ&A

- 市民センター指定管理料の見直し
- 市民センターの避難所運営
- 農業生産者への担い手育成支援、家族経営生産者への支援

千田 恭平 議員
ちだ きょうへい
菜の花

市の水道水は安全か

Q 市の水道水から人体への影響が懸念される有機フッ素化合物「PFAS」^{*4}が検出されたと聞くが大丈夫か。

A 令和5年10月に、厚生労働省からPFASの水質検査の実施依頼があった。令和6年8月1日から9月17日までの間に、市内全ての水源33カ所の原水と3カ所からの浄水の検査を実施した。国の定める暫定目標値1μg/Lに当たり50μg/Lを超えた箇所はなかったが、川崎地域の第1水源から市の判断基準5μg/Lを超える7μg/L、浄水から6μg/Lが検出された。年1回の検査を4回に増やし、濃度の低減化対策として水源の取水比率を変更している。



その他のQ&A

- 駅東口跡地の検討状況は
- たばこ税と喫煙場所の設置
- 中学校の部活動への対応

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧になれます！

単語帳

***6 食育**

さまざまな経験を通じて食に関する知識と、バランスの良い食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むこと。

***5 ジェンダー平等**

人間一人一人が、性別にかかわらず、平等に責任や権利、機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めることができること。

***4 PFAS（ピーファス）**

有機フッ素化合物の総称。人体への影響について現時点では確定的な知見はないが、発がん性の可能性が指摘されており、使用が制限されている。

新コーナー / 議案を深掘り

市議会が検討した議案を詳しくお知らせします。

今回の深掘り議案

可決 12月通常会議 議案第96号
千厩みなみ交流センター条例等を廃止する条例の制定



市女性センター (城内4-22)
勤労女性の福祉増進のため昭和50年に利用開始した集会や研修等施設



一関勤労青少年ホーム (田村町3-20)
勤労青少年の福祉増進のため昭和46年に利用開始した集会や研修等施設



千厩みなみ交流センター (千厩町小梨字落合177)
旧南小梨小学校舎を活用し、平成4年に開設した宿泊施設

千厩みなみ交流センター、一関勤労青少年ホーム、市女性センターの3施設を令和7年3月末で廃止するため、施設の設置をうたった条例を廃止するもの。

議案の概要

なぜ施設を廃止するのか

三つの施設はいずれも老朽化が進み、令和3年9月に市が決定した「先導的な取組による施設保有の見直し方針」では「廃止」の方針が打ち出されていました。

この方針を踏まえ、市では利用者や地元住民などへ説明を行った結果、理解が得られたと判断したことから12月通常会議に条例廃止の議案が提出されました。

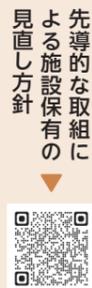
「先導的な取組による施設保有の見直し方針」とは、市が所有する建物系の施設のうち、142施設を対象に見直し(譲渡や廃止など)の方針をまとめたもの。市では厳しい財政状況の下、

廃止後の施設はどうなるの

千厩みなみ交流センターは令和8年に解体、一関勤労青少年ホーム、市女性センターは現時点で具体的な計画がないとのこと。

なお、一関勤労青少年ホームと市女性センター利用者の新たな活動場所の一つとして一関文化センターの旧食堂室を多目的室に改修予定とのこと。

既存の施設を現状のまま維持することが困難であるため、公共施設を段階的に縮減することとしています。



本会議での質疑

Q 施設の廃止には、地元の同意が重要である。同意の取り方に一定の基準を定める必要があるのではないか。

A 施設ごとに利用目的や利用者により異なるので、基準を定めるのではなく実情に配慮して進める。

Q 施設廃止に当たり、利用者からはどのような要望があったのか。

A 他の施設にスムーズに移れるようにしてほしい、使用する物品を保管する場所がほしいなど、活動の場の確保について要望が出された。

齋藤 禎弘 議員
さいとう よしひろ
チューリップ

農機具購入補助の実現を

Q 近年の米生産農家の推移は。

A 令和2年度は7,799戸だったものが、令和5年度は6,735戸と1,064戸減少している。主な理由は高齢化と後継者がいないこと。

Q 現在所有する農業機械が使えなくなった際に離農を考えている農家が少なくないことから、誰でも使える農機具購入時の補助を行うべきと考えるがいかがか。

A 市の農業施策は、規模を拡大する意向のある農家を対象にしている。

Q 市も頑張るから農家の皆さんも共に頑張ろうという、農家を励ます施策が必要だ。

A 同感である。



その他のQ&A
○学校給食費の無償化
○NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地

小山 雄幸 議員
おやま ゆうこう
カルミア

台湾企業誘致の活動状況は

Q 市内を訪れた台湾企業に対する閉校校舎を活用した誘致活動状況を伺う。

A 視察ツアーに参加した企業は、IT関連や製造業、観光業などさまざまな業種の企業や経営者で、紹介した物件への反応はおおむね好評であった。事業展開について具体的に調査活動を進めている企業や、進出を検討している企業が複数社あり、引き続き誘致活動を進めていく。

Q 1人暮らし高齢者の安否確認や見守りの取り組み状況を伺う。

A 緊急通報システム貸与事業や給食サービス事業を実施している。また、民生委員の訪問や新聞店や運送業者と連携した高齢者の見守りを実施している。



その他のQ&A
○高齢者への支援
○戦没者遺族会の現状

佐藤 真由美 議員
さとう まゆみ
福寿草

早急に中小事業者支援強化を

Q 中小事業者は未曾有の物価高騰にさらされながら価格転嫁などができず、経営困難に陥り廃業・倒産に追い込まれている。一関市は中小事業者が元気でなくては経済好循環が生まれにくい。きめ細やかな支援を緊急に講ずるべき。国は「重点支援地方交付金」について、対策の早期執行に向けた検討を求めているが市の考えは。

A 市としてどのような対策が効果的か検討し、当初予算あるいは補正予算といった段階で要求していく。

Q 産業振興会議も産業振興条例の理念に基づいて構成員の検討運営を考えることが重要ではないか。

A 組織は現状の体制を考えている。話し合うテーマなどは今後検討していく。



その他のQ&A
○重点支援地方交付金を活用し農業者支援を
○生活保護業務にAIを導入する目的は

単語帳

*8 緊急通報システム貸与事業

1人暮らし高齢者などを対象に、急病や火災などの緊急時にボタンを押すだけで消防署に通報できる機器を貸与する市の事業。

*7 重点支援地方交付金

エネルギー・食料品の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じた地方創生を図るための国から県や市町村への交付金。

**通年議会は5年目
令和7年の定例会を開会**

1月招集会議を1月10日に開催しました。令和7年定例会の会期を10月8日までの272日間と決めたほか、請願1件を採択し、議案1件と発議案1件を可決しました。



令和6年3月に行われた特別委員会の現地調査

**農地現状変更等に関する
調査特別委員会**

国、県への返還金が大幅減額

令和6年12月18日に開催した特別委員会において、交付対象とならない農用地に交付した中山間地域等直接支払交付金について、国、県に自主返還する額が変更（減額）になるとの説明がありました。

県を通じて国に要望した結果、違反確認農用地に係る交付金のみ返還になったとのこと（変更前の額は、協定農用地の全てに係る交付金）。なお、交付金を受けた協定集落（農家）に対しては、令和7年3月末までの返還を求めていくとの説明がありました。

委員（議員）は、減額になった経緯や返還金の納付期限などを質問し、内容について確認しました。

中山間地域等直接支払交付金の国、県への返還額（協定集落から市への返還額を除く）

変更前	変更後	比較
1億1,892万円	670万円	1億1,222万円減

※国、県への返還額は他の交付金や協力金などを含め総額786万円となる。

可決
補正予算

違反確認農用地分の交付金を国、県に返還へ

交付金の対象とならない農用地（面積約11畝分）に対して交付した中山間地域等直接支払交付金などの国、県への返還金などを盛り込んだ補正予算を可決しました。

市から国、県への返還額は785万6000円です。市は交付金の交付を受けた協定集落などに対して、交付金の返還を求めるとし、収入として計上しました。

この他、住民税非課税世帯などへの給付金、一ノ関駅東口工場跡地の管理運営法人への出資金なども盛り込みました。住民税非課税世帯などへの給付金は、国からの交付金を財源に、1世帯当たり3万円、併せて18歳以下の児童1人につき2万円を加算給付する内容となっています。

※交付金返還の流れ



※違反確認農用地…石灰の砂や石で白く覆われた農地（耕作ができない農地）が市内4地域で確認されている。

こんな質疑がありました

- Q. 国、県に交付金を返還することは当然だが、その全額を農家だけに請求するのではなく、市、農業委員会、関係事業者、農家で責任を分担しながら返還すべきではないか。
- A. 交付金の対象とならなかった農用地分の交付金であり、不当利得となる。当該農用地に係る全額を協定集落などに返還していただく。
- Q. 中山間地域等直接支払交付金などの返還金と住民税非課税世帯等支援給付金と一緒に補正予算となっている。性格の違うものを一緒にまとめた補正予算の組み方は、議員の判断を難しくするのではないかと。（どちらか一方の事業だけ反対または賛成することができない）
- A. 補正予算は必要な準備が整ったものから順次議会に提案している。あえて分けることはこれまでも行っていない。

採択
請願・意見書

教職員に時間外勤務手当の適正な支給を

※請願第6号「公立の義務教育諸学校の教職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止及び実効性のある学校の働き方改革を求める意見書採択の請願

岩手県教職員組合県南支部から提出された請願について、教育民生常任委員会の審査結果を踏まえ、賛成多数で採択しました。

請願は、給特法の廃止および適正な時間外勤務手当の支給を行うこと、文部科学省のできる業務削減を進めることについて、国に対し意見書の提出を求める内容でした。

反対討論

教員の時間外勤務を正確に把握することは難しい。教員の業務削減は国でも検討中である。（岩淵優議員）

賛成討論

長時間労働で家庭や命を犠牲にしている教員が多くなる状況を改善しなければならぬ。（千葉信吉議員）

※発議第1号「公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性のある学校の働き方改革を求める意見書

請願採択を受け、議員発議で提案（提出者永澤由利議員）された国に提出する意見書を賛成多数で可決しました。

令和7年定例会
議長あいさつ

「議会の役割を果たす」

今、世界では紛争が相次ぎ、あらゆる懸念も増加し、国内では人口減少や物価高騰などが暗い影を落としています。当市議会として一関市がどんな困難にもひるまず、未来に向けて確かな一歩を踏み出すために、議会の役割を果たしてまいります。



**表決が分かれた
案件**

会派	清和会					一関みらい				輝郷会			日本共産党 一関市議団			公	無	決議結果								
氏名	佐藤浩	那須勇	佐々木久助	菅原行奈	門馬功	小山雄幸	千田恭平	沼倉憲二	千葉大作	佐藤幸淑	岩淵典仁	永澤由利	佐藤敬一郎	小野寺道雄	猪股晃	千葉信吉	千葉幸男	岡田もとみ	佐藤真由美	千葉栄生	齋藤慎弘	岩淵優	小岩寿一	武田ユキ子	勝浦伸行	
請願第6号	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×		採択
発議第1号	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×		可決

○=賛成 ×=反対 ※公=一関市議会公明党、無=無会派

〈補正予算に計上した事業と補正額〉

事業等	補正額（増額）
中山間地域等直接支払交付金等返還金	786万円
住民税非課税世帯等支援給付金	4億1,000万円
駅東工場跡地管理運営法人設立出資金	36万円

聞かせて！

地域の課題と解決策



≪女性団体などを対象に
市民と議員の懇談会を開催しました

令和6年度市民と議員の懇談会を、令和6年10月から11月にかけて4団体、年明け1月に3団体と行い、計85人に参加いただきました。



懇談会は平成23年度からテーマや対象を変えながら実施。市民の声を聞くことで市政課題を把握し、市民の声をベースにした議会活動につなげています

初の公募も実施
ワークショップ形式で
意見交換しました

懇談会は、市民に開かれた議会を目指し、議会情報の発信と市民と議員の多様な意見交換の場として毎年開催しています。今年度は主に女性で構成する団体を対象にしたほか、新たな試みとして、議員との懇談を希望する団体の公募を行いました。

懇談のテーマは「地域の課題とその解決に向けたアイデアについて語ろう」。女性が活躍する地域づくりや各団体が抱える課題、議会に

期待することなどについて懇談しました。

会場では、できるだけ多くの参加者から発言していただけるよう、小グループに分かれて懇談するワークショップ形式を取り入れ、議員がグループの進行役となって参加者の意見を聞きました。各グループで出された意見は議員が模造紙にまとめ、最後に発表して会場全体で共有しました。

議会では今回参加者から頂いた意見などを取りまとめ、議員全体で共有するとともに、市長や教育長にも情報提供します。また、後日、市議会のホームページにも掲載します。

グループ内で出た意見は模造紙や付箋に書き出し、お互いに情報を共有。多くの意見が寄せられ、時間を忘れて懇談に没頭する場面もありました



7団体
85人と
意見交換！

開催日	懇談対象団体名	参加人数
10/31(木)	県私立幼稚園・認定こども園連合会 県南地区一関支部	13人
11/ 6(水)	市地域婦人団体協議会	12人
11/ 9(土)	市消防団(女性消防団員)	9人
11/15(金)	一関商工会議所女性会	15人
1/29(水)	【公募】一関地区精神保健福祉地域家族会	14人
1/29(水)	【公募】舞川地域課題対策協議会	15人
1/30(木)	【公募】山目地区区長会有志	7人

全7団体 85人

懇談会に参加して

議員に私たちの思いを伝えることができ、中身の濃い懇談となりました。これからも、このような懇談の機会をつくっていただきたいと思っています。



一関地区精神保健福祉地域家族会
代表 小山肇雄 さん

門戸を広げていきます

今回、初めて懇談団体を公募する取り組みを行いました。PR不足などで応募は少なかったのですが、今後も門戸を広げ、市民の意見を聞く仕組みを構築していきたいと思っています。



門馬功 広聴広報委員長

参加者から頂いた「まちの課題解決」への主な意見

人口減少対策

SNS(交流サイト)を活用して積極的に情報発信し、移住希望者や観光客、外国人などに一関市の良さを伝える。

企業の誘致や地元企業、農業法人、後継者のいない商店などの支援を行い、若者や女性が働く場を確保する。

どれぐらいの将来人口を目指すのか数値目標を掲げるとともに、市の組織に「人口減少対策室」を設置する。

子育て支援

子育て世代をサポートするために、地域みんなで子育てに関わることでできる仕組みをつくる。

市内に公園を新設整備するとともに、使用ができなくなっている遊具や設備の改修を行う。

土、日、祝日に働く親のために、休日に子供を預かるサービスや施設をつくる。

まちづくり

都市部をまねするのではなく、一関市の良さを生かしたまちづくりを行う。

外国人の家族が安心して生活できるように、地域での交流の場などを設ける。

障がいのある人や家族が気軽に相談できる場や機会を設け、一人で悩まず横のつながりができるようにする。

自治会運営マニュアルの作成や自治会業務のDX化を進めるとともに、自治会ごとに担当の市職員を配置し、自治会の支援(負担軽減)を図る。



市民の



顔の見える事業を 開催

さとうひろこ
佐藤弘子さん(千厩町小梨)

30代で自治会活動に参加し始め、以降役員を続けながら今年古希を迎えます。大変でしたが楽しく過ごしてきました。次世代の方々の自治会への参加を期待したいところですが、少子高齢化・人口減少が進み、うまくいかないのが現状です。ただ、嘆いてばかりでは前に進めないで、自治会事業を子供たちでも楽しめる内容に工夫しています。豆腐やこんにゃく、和菓子などの手作り講座、地区内の史跡を歩くウォークラリーなど、顔の見える事業から始め、行政と共に地域の進む方向を見つけていきたいと思っています。



日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
市民の声を聞きました



子供たちが地元に残りたいと思う街に

えんどうまさのり
遠藤正憲さん(室根町折壁)

私は祖父の代から続く酪農を経営しています。最近は酪農だけではなく、離農するという話をよく耳にします。子牛価格の下落や物価高でとても大変な状況です。良い時期、悪い時期はあるとは思いますが、国内消費だけでは牛肉や牛乳の消費の伸びは期待できず、このままでは子供に継いでほしいとは思えません。一関市は子育て支援に手厚く対応しています。しかし、気になるのは公園の遊具に故障や老朽化したものが多いところで、子供たちが安全に楽しく遊べる場所がなく不便に感じています。

2月通常会議を開催中です。
~3/13(水)まで(予定)

会議日程はホームページをご覧ください。詳しくは議会事務局(☎②18604)までお問い合わせください。

議事を傍聴してみませんか

実際に議場に足を運んで、生の議会をご覧になってみませんか。お気軽にお越しください。

インターネットで生中継

議会(本会議)の様をライブ配信しています。議会のホームページからアクセスしてください。

一関市議会



今号の COVER 東山和紙 冬の紙すき

800年以上の歴史を持つ東山町の伝統工芸品「東山和紙」。冬の寒い時期に手作業で紙をすくことで、しなやかさと丈夫さ、素朴さ、自然な色合いが特徴の良質な紙に仕上がります。

イラストレーター：有華(市内在住)



待受画像
ダウンロード



編集後記

議会だよりをリニューアルして1年が経過したことからアンケートを行いました。900人弱の方々に協力を頂きましたが、「読みやすくなった」、「手に取ってみたいになった」といった回答が多く寄せられた一方、「読んだことがない」との回答が100人ほどあったことは、議会への関心度がうかがえるとともに、広報活動の難しさを感じさせられました。寄せられた感想、意見を基に、より良い誌面作りに励んでいきたいと思っています。(委員 猪股晃)

広聴広報
委員会

【委員長】 門馬 功 【副委員長】 岩淵 優
【委員】 那須 勇 佐藤真由美 菅原 行奈
佐藤 幸淑 永澤 由利 猪股 晃